

『^わ環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成 17 年 12 月 8 日	
		作成部署	森林保全課治山担当	
事業名	治山事業(地域防災対策総合治山)	構想番号	(農・南)構17-1	
		地区名	いなづま 稲次地区	
概算事業費	200,000千円	事業期間	平成18年度 ~ 平成20年度	
事業概要	治山ダム工 8基、森林整備 A=18.0ha			
関連する公共事業	該当なし			
ガイドライン		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
主要な評価の視点				
地球環境・自然環境	地球温暖化 (CO ₂ 排出量等) 地形・地質 物質循環(土砂移動) 野生生物 ・絶滅危惧種 生態系 など	渓岸浸食の進行に伴う山地崩壊発生が発生しているため、その防止及び土石流の流下対策を講じる。	治山ダム工の計画により渓岸縦・横浸食を抑止するとともに、渓床勾配緩和による山脚固定を図る。	
	水環境・水循環 大気環境 土壌・地盤環境 騒音・振動 廃棄物・リサイクル 化学物質 粉塵 電磁波・電波・日照 など	農業用ため池へ不安定土砂が流入した場合、下流水田への影響が危惧されるため、土砂流入防止対策を図る。	ため池直上流に治山ダム工(谷止工)を計画し、土砂流入防止を図る。	
	景観 里山の保全 地域の文化資産 伝統的行事 地域住民との協働 など	区域内のため池への流入水は、後背する森林に依存しているが、森林の荒廃が進行している。そのため森林の健全化を図り、公益的機能の維持を目指す。	本数調整伐等の森林整備を計画し、土砂流出防備及び水源かん養機能を高める。	
地域の環境像	良好な自然環境のもと、農山村集落に必要な不可欠な用水の提供を安定化するとともに、災害に強い森林づくりを目指す。			
特記事項	特記事項なし。			

「環境評価」欄には、評価項目ごとの環境配慮の自己評価を記載する。(改善、中立、悪化×)